

# ほーむずマッチング（仮称）ver1.0.0 企画書

## 1. 概要

現在のβ版は「バンド募集中のメンバー検索」および「アカウント編集」のみの機能を持っている。これを、事前に追加した「ライブ」「予定」タブを活用することで、インカレバンドサークルに必要な要素を総合した正式リリース ver1.0.0 を制作するのが目的である。

主な作成機能は以下の通り。

- a. 「検索」タブ（現行のものを流用）。バンド募集中のメンバーを検索する用途で使用。
- b. 「予定」タブ（基盤のみ準備済）。権限を持つアカウントがサークル全体に対して予定を設定する。ライブ・イベントへのエントリー、各バンドのスケジュール閲覧、過去ライブのアーカイブ保存など、多機能に使用。
- c. 「イベント」タブ（基盤のみ準備済、名称変更）。バンド・イベントへのエントリー、バンド募集、ライブのタイムテーブル・セットリスト閲覧など、多機能に使用。
- d. 「お知らせ」タブ（現行のものを流用）。権限を持つアカウントが特定のアカウントに対して通知を送信する用途で使用。
- e. 「アカウント」タブ（現行のものを流用）。自身のアカウント情報の編集に使用。

また、完全新規機能として「役職」の概念を追加する予定。

## 2. 各機能詳細

### ① 「役職」

「管理者」「代表」「副代表」「事務」「会計」「班長」「パートリーダー」を作成予定。

- 管理者  
おれ。アプリのソースコードを君とともに編集・修正する。すべての権限を持つ。
- 代表  
サークルの代表。「イベント作成編集」「お知らせ作成編集」「スタジオ表作成編集」「タイムテーブル作成編集」「セットリスト作成編集」「アーカイブアップロード」の権限を持つ。
- 副代表  
サークルの副代表。代表と同じ権限を持つ。
- 事務  
サークルの事務。代表と同じ権限を持つ。
- 会計  
サークルの会計。代表と同じ権限を持つ。
- 班長

サークルの班長。「イベント作成編集」「お知らせ作成編集」の権限を持つ。

- パートリーダー

各パートのパートリーダー。「イベント作成編集」「お知らせ作成編集」の権限を持つ。

## ② 「検索」タブ

- タブ内でさらに2つのタブを作成。

- メンバー検索

現時点で変更はなし。デバッグ後、問題点を洗い出す。

- バンド検索

募集中のバンドを検索できる。

## ③ 「予定」タブ

- その月のサークル内の予定が表示される。

- カレンダーで表示。

- 「イベント作成編集」で作成された、イベントの閲覧が可能。タップで「イベント」タブの該当タブに遷移する。イベント日、エントリー期間、準備期間などを含む。

- 「バンド作成編集」で作成された、バンドのスタジオ練習の閲覧が可能。他のバンドと練習時間が被っていないか確認できる。

- 前年度の予定までは保存して閲覧可能。更にその前の年度は、何かしらのデータフォーマットでアーカイブ予定だが、閲覧は不可。

## ④ 「イベント」タブ

- 予定されているイベントが直近順に表示される。

- ライブイベントをタップすると、ライブ日、場所、エントリー期間、準備期間、タイムテーブル、セットリスト、ライブ動画の確認ができる。

- ライブイベントをタップすると、作成したバンドをエントリーさせることができる。エントリーフォーム・セット図の提出などができる。

- ライブでないイベントをタップすると、日時、場所、エントリー期間が確認できる。

- ライブでないイベントをタップすると、エントリーができる。

## ⑤ 「お知らせ」タブ

- 権限を持つアカウントが指定したタイプのアカウントにお知らせを送信できる。

- お知らせはプッシュ通知。

- イベント作成時やセットリスト作成時、エントリー期間終了時など、通知するタイミングは非常に多いと考えられる。何かを作成する際に、通知するかどうかの設定を必ず含めること。

## ⑥ 「アカウント」タブ

- 今までと同じ機能に加えて、自分がどのバンドにエントリーしているか、どのイベントにエントリーしているか把握できるようにする。

## ⑦ その他

- あるライブにエントリーしたバンドが多すぎると幹部が判断した際は、出演バンドの抽選

を行う。参加しているメンバーのうち、そのライブ中1つのバンドにしか含まれていないメンバーを含むバンドは抽選の対象外とし、複数バンドでエントリーしているメンバーがいるバンドを抽選対象とする。この抽選プログラムも実装予定。

- カレンダーにおいて、スタジオ練習のスケジュールをタップすると、それがなんのバンドで誰がエントリーしているか判別できるようにする。各アカウントのアイコンを表示するのがよい。

### 3. 注意点

全機能を網羅できていない可能性が高く、おそらく説明が不十分。そのため、絶対に本番環境には許可なしにデプロイしないこと。

必要に応じて、ファイルの作成・移動・削除をおこなってよい。外部ツールの導入が必要な場合は相談すること。また、所定の開発サイクルを厳守すること。